

小川 不朽 議員 … 2件の一般質問

「北海道原子力防災訓練」の成果と課題



町長：冬季の避難訓練を検討していきたい

小川 本町は10月21日、泊原発3号機から放射性物質が放出されたとの想定で町外への避難訓練を実施した。

今次防災訓練の計画・実施及び成果と課題について伺う。

北海道・倶知安町が策定した「原子力防災のしおり」(2014年3月発行)の活用実態について伺う。

過酷事故に耐えられる防災計画と、その計画に基づいた実効ある訓練が必要不可欠と考えるが。

町長 町独自の訓練として毎年実施することにした。

目的は、おおむね達成できたものと認識している。

総括については、北海道が参加した自治体から意見等を取りまとめ12月22日予定に開催される担当者会議で公表される予定になっている。

課題は、外国人を含む観光客等の一時滞在者に対する避難訓練の実施ができなかった。

北海道を含め倶知安町

と二七〇町が連携して、外国人を含むスキー場関係者と綿密な調整をし、避難訓練を実施していきたい。

今後は、北海道やUPZ町村と協議しながら、冬季の避難訓練を実施するよう検討していく。冬期間の厳しい時も含め、様々な期間、時期を通していろいろな訓練をしていくことが、一つ一つの問題解決に課題が見えてくると思っている。

「原子力防災のしおり」の活用について、今後は町広報紙等で再周知するとともに、各種研修等において積極的に配付・活用していく。

課題について、改善に向けた方策を検討し取り組み、少しずつ結果に結びついてきていると感じている。



北海道原子力防災訓練

小川 避難に伴うバス・乗用車などの移動の交通手段は。

町長 町民アンケートでは、バスで避難する方はおおむね15%、残りの85%の方が自家用車で避難するという結果となり、50人乗りのバスが50台必要と算定している。

教育長 各学校ではこれまでの結果分析から見えてきた

小川 全国学力・学習状況調査が、今年も全国の全児童生徒を対象に実施された。本調査の目的に対する所見及び本町のこれまでの調査実施の成果・課題について伺う。

教育長 各学校ではこれまでの結果分析から見えてきた

また、授業できめ細かな指導を行うためには、教職員の加配や学習支援員の配置などが必要であることから、人的な教育環境の整備についても引き続き道教委に対し、働きかけを行うなどの取り組みを行っていきたい。

また、授業できめ細かな指導を行うためには、教職員の加配や学習支援員の配置などが必要であることから、人的な教育環境の整備についても引き続き道教委に対し、働きかけを行うなどの取り組みを行っていきたい。